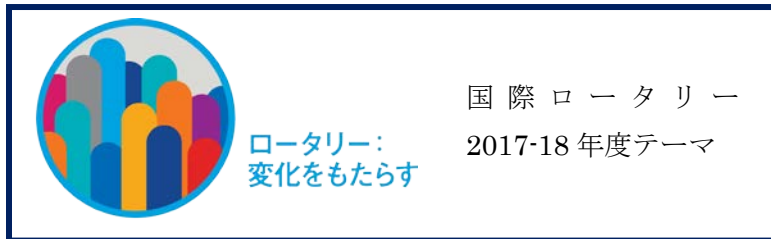




2017-18年度
国際ロータリー会長
イアン・ライズリー

Weekly Report Niigata



国際ロータリー
2017-18年度テーマ



2017～18年度
新潟ロータリークラブ会長
徳永 昭輝

新潟 RC 1月第 3例会 (2018.1.23) No.3216

(1) ロータリーソング「我らの生業」斉唱

(2) 徳永 昭輝会長挨拶

昨日は、東京でも大雪に見舞われ交通機関などに大混乱をきたし、あちこちで事故も多発していたようです。先週は、例会後に新年家族会が行形亭で行われました。横山芳郎パストガバナリー、10名の家族の皆さんをお迎えして楽しい新年会になりました。親睦委員会の玉委員長はじめ委員の皆様ご苦勞様でした。

今日は、安倍晋三総理が年頭の記者会見で、働き方改革に取り組む姿勢を表明していますが、それを受けて医師の働き方改革についても議論が進められています。

今日は、その医師の働き方改革について考えてみたいと思います。まず、医師は労働者かということです。最高裁では、平成17年6月3日、医師の【労働者性】を認め死亡した研修医が労災認定されています。今年になってから、北里大学病院で違法残業といった報道がされました。北里大学病院は、高度な医療を提供する病院として国が承認する全国に85施設ある「特定機能病院」の一つです。報道内容は、医師の勤務時間を就業規則で定めずに違法に残業させ、労働時間の把握を怠っていたとして、労働基準法違反で是正勧告や改善指導を受けたというものでした。

このような報道は、医師の労働の定義が不明確なまま議論されていないか危惧しています。残業月80時間が「過労死ライン」とされていますが、総務省は過労死ラインを越えて残業する人の割合は医師が最も高いとその調査結果を報告しています。過労死というと、新潟市民病院の30代の女性研修医が「長時間労働が原因で自殺した」として労災認定されてから、今あちこちの医療機関で「医師の長時間残業」が問題となっていますが、救急医療を担う新潟市民病院では医師の働き方「超勤残業」規制のために、救急医療や患者さんの受け入れ制限をせざるを得ない状況になっています。

非管理医師における長時間労働の実態調査(全国自病院協議会「医師の働き方改革に関する緊急要望」の参考資料)によると、1か月あたりの平均時間外労働時間34.8時間(最長75.9時間)で、病床規模に比例して時間外労働勤務が多くなって

いて、これは、大規模病院では高度急性期医療を担っているなど、病床機能や医療供給体制の違いによるものと考えられます。

先にも述べましたが、安倍晋三内閣総理大臣は2018年、年頭の記者会見で働き方改革に関して「歴史的な大改革に挑戦する」と表明、残業に罰則付きの上限を設けることなどを盛りこんだ労働基準改正法の成立に全力を尽くすと言っています。

平成30年1月15日、厚生労働省有識者検討会は、労働基準改正法を待たずに取り組む、医療機関に対して求める緊急対策の骨子、①出退時間の的確な把握、②36協定の点検;医師を含む職員を残業させるために必要な労働協定、③当直明けの負担軽減などをまとめたを発表しました。

～このまま医師の労働規制を進めると

「地域医療が崩壊する」～

全国自治会病院協議会会長の邊見公男(赤穂市民病院名誉院長)は「医師の働き方改革に対する要望書」を厚労省の「働き方改革を検討する」有識者検討委員会に提出しています。

問題点は何か！

1. 「医師の招集義務」と「労働規制」との関係

医師法第19条;診療に従事する医師には、診療の求めがあった場合には、正当な事由がなければ、これを拒んではならない

2. 医師の労働の特殊性

～自己研鑽や当直・宿直中の待機時間など～

3. 地域偏在、診療科偏在(外来と入院)の偏在の問題

～医療提供の地域格差など～

4. 「一人主治医制」の見直し

～いま、国民皆保険が危機的状況にある～

皆さん、国民皆保険制度をどのように考えていますか？

全国自治体協議会は、患者・家族またはメディアを含めて国民が、空気のように当たりまえにとらえている「国民皆保

険制度」がいま「危機的状況にある」という認識をお互いに共有しなければ、医師の働き方改革は進まないと訴えています。

「医師の働き方改革」を進めるためには、医師法の改正や医師の偏在した日本の医療のゆがんだ環境を変えなければならぬと思っていますが、民さんはどう考えますか。故柴田史郎会長が、医学と医療の変化に触れ、医師は、病気を診るのではなく、「病者」(病気を持った人)を見ることが大切であり、患者さんには「医学・医療の持つ不確実性への認識不足」について述べていた挨拶のことを思い出しますが、今こそ医療を提供する側と医療を受ける側が「同じ目線で、医療の在り方について認識を共有し、議論すべき時が来ている」と思います。

(3) ビジターの紹介・挨拶

- ・新潟東 RC 水本 孝夫会長、野澤 修幹事、
加藤 大二 60周年記念式典実行委員長



(4) 3分間スピーチ

- ・ダイダン(株)新潟支店長 田中 克典君



- ・(株)TOSYS 常務取締役 東方 幸雄君



- ・菱機工業(株)常勤顧問 得永 哲史君



(5) 各種ご寄付の発表

- ロータリー財団寄付発表(得永 哲史委員長)
新田 幸壽君 石本隆太郎君

米山奨学会寄付発表(白勢 仁士委員長)

高橋 秀松君 徳永 昭輝君

石本隆太郎君

青少年育成基金寄付発表(小田 等委員長)

樋熊 紀雄君 小田 等君

(6) ニコニコボックス紹介 (町田 智委員長)

・新潟東 RC 水本孝夫君、加藤大二君、野澤修君 本日は4月7日開催の当クラブの60周年記念の参加お願いと2月23日開催の7クラブ合同例会の参加お願いにまいりました。皆様のあたたかいロータリーの友情に感謝しニコニコさせていただきます。

・玉 知夫君 先週の新年家族会、皆様ありがとうございました。次は4月10日 観桜会です。

・田村貫次郎君 新年会で長寿の御祝を頂き、有難うございました。

・高橋 康隆君 先週の新年家族会で年男の御祝を頂きました。“戌笑う”一年であることを願っています。

・岡田 茂久君 先週、年男の御祝で美味しいお肉を頂き、ニコニコします。

・吉田 和弘君 娘の成人祝いをありがとうございました。

・竹田 正弘君 昨日、家内から「また忘れていたでしょ？」と怒りの絵文字付のメールが届きました。確かに忘れていました。結婚記念日のお花、ありがとうございました。

(7) 卓話「2018年新潟県経済の展望」

新潟経済社会リサーチセンター

常務理事 佐藤 孝一氏



(8) 1月23日例会の出席率 71.59%

会員数 92名(出席免除会員 8名)

出席者 63名(出席免除会員 5名を含む)

(2週間前メーク後 92.05%)

2月6日は第一例会につき、卓話はございません。

新潟ロータリークラブホームページアドレス

<http://www.niigatarc.jp/>